

一般質問

9月4日、5日の本会議で、18人の議員が、市政全般について、一般質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

心身の健康を維持し 元気で長生きの施策を



公明党 永原 美代 議員

議員 三鷹も、平成17年度に、乳幼児医療費助成制度における所得制限の緩和を実施した。大いに評価するところである。出生率の低下は、日本の各自治体が危機感を募らせており、住民や議会、市町村の要望を受け、さらに対象年齢の引き上げや減免額の拡大などを実施する都府県がある。都が拡充するのを待つのではなく、市単独でも拡充すべきだ。都の検討に先駆けて実施する考えはあるか。

議員 育面を助け、地域交流にもなる。導入できないか。

議員 一人暮らしの高齢者が健康で長生きするためには、地域社会が果たす役割は大きい。高齢者の積極的な参加を促しながら、全ての小学校でふれあい給食の実施と拡充を検討するよう学校に働きかけたい。

議員 子どもたちが安全で安心して遊べると同時に、高齢者も元気はつらつと集える公園づくりが必要だ。市の公園や公共施設、公営住宅などに高齢者向けのストレッチ器具を設置せよ。

議員 市民が健康で長生きすることは行政の使命でもある。現在、各住区ごとのウォーキングコース上の公園にストレッチ器具を設置し、高齢者を含めた市民が利用できるような市民協議会と協議をしている。

調布 市民の声を 積極的に聞け



公明党 川原 純子 議員

議員 現在、調布保谷線の整備については、東京都による用地買収が進められて

いる。住環境の変化によって、周辺地域の住民への影響が懸念される。住民の意

見を幅広く集める取り組みが必要だ。所見を伺う。

議員 整備事業に伴う移動の対象者は不安を感じており、相談体制の確立が求められている。特に高齢者や障がい者への配慮が必要だ。市は積極的に相談に応じ、都との連絡調整役を果たすべきではないか。

議員 相談については都が窓口だが、市としても適切に対応していく。

議員 移転対象者の支援策として、都営住宅への入居の優先的なあつせん制度がある。制度の活用を都に働きかけてほしい。

議員 都市整備部長 制度の有効活用を都に求めていく。

議員 歩行者の安全確保のため、対策を強化せよ。

議員 立って看板等でドライバーへの注意喚起を図る。

フアシリティ マネジメントの活用を



公明党 緒方 一郎 議員

議員 18年度より「公共施設の保全・活用に向けた取り組み」を実施している。頻発する公共施設やエレベーターでの事故を検証し取り組みに反映すべきだ。情報の統合管理、伝達は緊急時の初動に大きく影響する。様々な情報から早期対応の必要性を判断できる想像力を養い情報を全庁的に共有する体制を強化せよ。

議員 経営会議を中心に情報を共有し、対応の議論を行い、当事者意識を持った取り組みを行うよう職員の意識改革を図っている。

議員 総合的な視点で施設等の経営管理活動を考えるフアシリティマネジメント

議員 整備事業に伴う移動の対象者は不安を感じており、相談体制の確立が求められている。特に高齢者や障がい者への配慮が必要だ。市は積極的に相談に応じ、都との連絡調整役を果たすべきではないか。

議員 相談については都が窓口だが、市としても適切に対応していく。

議員 整備事業に伴う移動の対象者は不安を感じており、相談体制の確立が求められている。特に高齢者や障がい者への配慮が必要だ。市は積極的に相談に応じ、都との連絡調整役を果たすべきではないか。

議員 相談については都が窓口だが、市としても適切に対応していく。

議員 移転対象者の支援策として、都営住宅への入居の優先的なあつせん制度がある。制度の活用を都に働きかけてほしい。

議員 都市整備部長 制度の有効活用を都に求めていく。

議員 歩行者の安全確保のため、対策を強化せよ。

議員 立って看板等でドライバーへの注意喚起を図る。

防災意識高め 市民協働での対策を



民主市民連合 高谷 真一朗 議員

議員 現在、市内29カ所に災害対策用の物資備蓄倉庫がある。学校の校舎内に備蓄している場合、近隣の保護者や地域住民が防災倉庫のかぎの保管場所を知らなければ、大規模災害時に備蓄品をスムーズに配付する

議員 円滑な救護活動は行えない。共助という面で各学校のPTA役員や地域住民に協力を仰ぎ、かぎの保管場所について取り決めを交わすなどの対応をとるべきだ。セキュリティボックスの設置などを検討せよ。

議員 学校等の施設については、災害時だけでなく平常時の管理という問題もある。検討はしてみたい。

議員 阪神・淡路大震災の時、健常者と同じ教室に避難したことにより、障がい者やその保護者が精神的に苦痛を感じたことがあったようだ。緊急事態には、被災者全員が協力し合い、災

議員 小・中学校の校庭に、直接汚水を下水道管に流せる非常用便槽を設置せよ。

議員 備蓄している水を使用しない簡易トイレの配備を今後も進めたい。

議員 戦没者追悼式について

人らしく生きられる 社会への市の課題



民主市民連合 嶋崎 英治 議員

議員 子どもが学校のトイレで大便をしたがらない実態が、深刻な問題となっている。排せつ行為の重要性

を持つよう、指導している。議員 学校トイレの快適化のため、他市の例や専門家の意見を参考に、子どもの視点で改善策を検討せよ。

議員 十分検討したい。

議員 税制改正による増税は、市民生活に大きな影響を与えており、年金生活者にとっては特に深刻だ。市は実態把握とセーフティー

議員 少子化対策で大切なのは、子どもを産まなくなつた原因を十分分析して、抜本的な解決策を示すことだ。雇用不安・老後不安・健康不安が少子化の背景にあると考える。子育てへの不安をなくす施策を示せ。

議員 子育てと仕事が両立可能な環境づくりなど、すべての子育て家庭を支援する取り組みを進めたい。

議員 市職員の健康管理には、労働環境改善の取り組みが重要だ。労働安全衛生法等の改正については、全職員への周知を徹底せよ。

議員 「労安ニュース」の配布等で周知している。

議員 依然として自転車の事故が多く、マナーの悪さも目にする。「自転車安全条例」制定後の課題と現状、今後の展開について伺う。

議員 自転車安全講習会は、今後も内容の充実に努めたい。条例の目的達成に向け、自転車の交通安全指導への取り組みを検討している。

議員 歩行者を優先した道路整備について、①生活道

安全管理体制を整備し 市民を守る取り組みを



民主市民連合 中村 洋 議員

議員 依然として自転車の事故が多く、マナーの悪さも目にする。「自転車安全条例」制定後の課題と現状、今後の展開について伺う。

議員 自転車安全講習会は、今後も内容の充実に努めたい。条例の目的達成に向け、自転車の交通安全指導への取り組みを検討している。

議員 歩行者を優先した道路整備について、①生活道